

ボートについて説明を受ける参加者



RCボート、散布能力を試験 圃場での初試験



試験で使用したRCボート



散布試験の様子

JA うつのみやは5月15日、しのい夢ファーム圃場にてラジコンボートを用いた、粒剤・豆粒剤（水稻除草剤）の散布試験を行い、しのい夢ファーム、ワイズファクトリー（株）、農業メーカー担当者とJA職員ら11人が参加しました。実際の圃場での散布試験は今回が初となりました。

同散布試験は、ワイズファクトリーが新規に開発した粒剤散布装置を既存のフロアブル散布用RCボートに付け替えた状態で、粒剤を均一に散布可能か試験することが目的。

試験では豆粒剤と1㎡粒剤の二種類の粒剤を使用し、散布幅や10㎡あたりの散布量などについて試験。参加者はワイズファクトリーの担当者からボートの説明などを受けながら、実際の散布の様子を確認。散布終了後には圃場に均一に粒剤が散布されていることを確認しました。

散布試験終了後には、ボートへの散布装置の取り付け方について説明。難しい取り付け作業が要らないことや、現在のラジコンボートと同様に操作できる等の説明を受けました。

今回の試験で使用した、ボートと粒剤散布装置は来シーズンは一般向けに販売される予定。

令和2年度常勤役員紹介

5月27日の第22回通常総代会後、臨時理事会・監事会で
常勤理事4人・常勤監事1人を選任しました。

本年度から3年間、JAうつのみやのかじ取りを担うことになりました。

横松久夫組合長はじめ、5人の新役員としての抱負、

これまでの人生で楽しかったこと・大変だったことなどを語っていただきました。



よこまつひさお
横松久夫 組合長

「農協は、組合員がつくった組織なので、組合員の要望をよく聞き、サービスの向上に努めることが何より必要だ」

5月の役員改選で組合長に就任し、今後3年間のかじ取りを担うことになりましたが、これまでの信念に揺るぎはありません。

全国的に取り組みが進められている「創造的自己改革」について、「農家の所得増大は、農協に課されている昔からの最大の目的なので、地に足を付けた改革に取り組んでいきたい」と冷静に受け止めています。

今までの仕事人生の中で、最も苦しかったことと、最も充実した出来事の両面を持つのが、JAエルサポート設立にかかわったことを挙げています。

JAエルサポートは平成21年4月、栃木県内の総合農協10JAと全農の出資により設立された燃料事業を営む全国で初めての県域燃料一体会社です。

これまでの経験値から、「組合員のための事業運営には、二つのものにこだわりつつも、日々変化していく世界に対応していく事が重要」との思いを強くしています。

趣味はゴルフで、うまくなることを目指しながら楽しんでいるといいます。

「農協が組合員に必要とされ続けるために何をすべきか、常に考え歩んでいきたいと思っています」
組合員の生活を豊かにするという究極の目的のために、組合員と農協との間で相互理解を深めながらアプローチする必要があると言います。また、そのためにも農協が『組合員のための組織』だということを変更して再確認する必要があると。

新たに専務理事という役職に就きましたが、組合員の立場に立つて、農協独りよがりの事業にならないよう常に考え、組合員、農協が相互に理解しあえるようにしていきたいと考えているそうです。

今までの人生で楽しかったことや苦しかったことについては「ありすぎて何を話したらいいのかわかりません。ですが、どの経験も今の私を形成する大事なものだったと感じます」とこれまでを振り返り話しました。

最近、取り組んでいることは体力強化で、農家としても活動しているので、体力づくりと、物事の整理、自分の気持ちをポジティブにするためにも継続的に取り組んでいるそうです。



さとうし のぶ
佐藤俊伸 専務理事



むら やま かつ お

村山克夫 常務理事

「農協は組合員のための組織、組合員の皆さまの役に立っていききたい。特に金融、共済という立場から農業や生活の分野での支援を行ってほしいと思っています」

金融においては融資を伸ばすことで、農家の生産増加を目指していききたい。共済においては組合員が生活していく上で万が一のリスクに備えていただき、いざというときに組合員の支えになっていききたいと分野ごとの具体的な目標について言及しました。

今までの人生で印象深かったことについては「22年前に5つの農協が合併して、J Aうつのみやになつたところ、5つの農協から集まった職員全員から『新しい農協を自分たちでこれから盛り上げていこう』というやる気に満ちていた空気が今でも印象深いですね」と当時を思い出していました。

関心があることについては「観賞用の魚に興味があります。以前は熱帯魚などを飼っていました。最近では特に錦鯉に興味があります。柄や色合いなどが違う様々な個体があって、とても奥が深いです」と語りました。



み かつ しげる

見形繁 常務理事

「自己改革の実践を通して、生産コストの低減や農家への対応強化、労働力支援等担い手対策など、組合員の所得増大と地域社会との結びつきを重視し実態を踏まえた取り組みをしていきたい」

第22回通常総代会後の臨時理事会において、営農・経済担当常務に就任し、農協運営を執行する立場になり、その責任と役割の重さを痛感しているそうです。浅学非才の身ではありますが、「地域農業の振興」「組合員の繁栄」「宇都宮農業協同組合の発展」のために全身全霊で職務を全うしていきたいと、今後の職務について、決意を示しました。

楽しかったことや辛かったことなどについては「今まで、そういったことが無かったといえれば嘘になつてしまいますが、前を向いて必死に進み続けてきたため、そういったことを考える暇もありませんでした」と当時を振り返りました。

趣味と座右の銘については「座右の銘は『一日一生』。一日一日を大切に一生を過ごすことを目標にしています。また、趣味はゴルフと仕事です。どちらも少しでも成長できるよう努力していきたいです」と熱意を語りました。



ます ぶち あき お

増淵昭雄 常勤監事

「管理者による日常検証等の状況を監査し、J Aの信用失墜につながる不祥事を起こさない、起こさせない職場風土の醸成に努めてまいります」

J Aうつのみやで職員として金融部長、総合企画室長を勤めただけに、各部門のトップを歴任しただけに、常勤監事に就任した抱負も「J Aの信用」に重きを置きます。

J A人生の中で特に印象に残っているのは「広域合併直後の支所で初めて金融事業についた時です。目の前の業務をこなすことが精いっぱい、つらい苦しいの認識すらする余裕がない2年間でした。今振り返れば毎日が新鮮で、仲間と苦楽を分け合ったあの頃が一番充実していた時期かもしれません」と現役時代を懐かしがります。

古代中国の歴史は、スケールが大きく興味深いそうです。「古くは『三顧の礼』『泣いて馬謖を斬る』の故事成語がある『三国志』（吉川英治）、最近では映画にもなった『キングダム』のコミックを愛読しています」。

趣味とまではいきませんが、謙虚に前置きした上で、時折「彗星来訪」などの話題の天体ショーがあると、夜空にカメラを向けているそうです。

新契約優績・重点施策優績・自動車共済損害調査サービス優秀組合の3部門 JA共済連から表彰



JAを代表し、表彰を受ける
芝野三郎前組合長(右)

JAは5月19日、JA共済連から令和元年度新契約優績表彰(生命総合共済の部)、令和元年度重点施策優績表彰、令和元年度JA自動車共済損害調査サービス優秀組合表彰をJA本所の役員室で受けました。

令和元年度新契約優績表彰(生命総合共済の部)、令和元年度重点施策優績表彰は令和元年度JA共済優績組合表彰規則により共済の普及に貢献したJAに贈られます。

令和元年度JA自動車共済損害調査サービス優秀組合表彰は、JA自動車共済損害調査サービス担当者の意欲向上を図ることを目的に、損害調査サービスへの取り組み内容を総合的に評価し、迅速化・適正化などの項目で特に優秀な組合に対して行うものです。



複数の部門で表彰を受けました

新役員から旧役員へ、うつのみやのバラを贈呈 新旧役員・事務引継会

JAは6月8日、ホテル東日本宇都宮にて新旧役員・事務引継会を行い、役職員64人が出席。新役員から旧役員へバラの花束の贈呈が行われました。

同会で旧役員へ贈呈されたバラの花束は、JAうつのみやバラ専門部の部員が育てたバラをJAグループ栃木の推進する「たべる!のむ!かざる!栃木応援プロジェクト」の一環として、購入し使用。赤やピンク、黄色など彩り豊かなバラの花束を手渡しました。

引継会では新役員を代表し、横松久夫組合長から「新役員として、組合員・地域の皆様に信頼される農協作りを行っていく。旧役員の皆様には感謝を述べるとともに、これからもバックアップをしていただきたい」と、これからの抱負と旧役員への感謝の意を述べました。また、旧役員を代表し、芝野三郎前組合長からは「現在、新型コロナウイルスなどの影響で状況は良くないが、新役員の皆様にはこの状況を乗り越えてほしい。旧役員としてもこれから応援していきたい」と激励の言葉を贈りました。

横松組合長(左)から芝野前組合長(右)へ



旧役員の皆さま

緑枝管理の大切さ学ぶ 梨専門部研究部講習会



阿部さんから緑枝管理の実技を学ぶ参加者



阿部さんから指導を受けながら、実際に緑枝管理をする参加者

梨 専門部研究部は8日、緑枝管理講習会を宇都宮市内で開催。部員や関係者24人が参加しました。城山支部の阿部孝徳さんを講師に招き、この時期の管理の大切さを座学と実技演習で学びました。

鈴木建彦部長は「コロナウイルスの感染拡大に伴い、講習会を中止する予定だったが晩霜被害などが出たことで、緑枝管理が重要になったので開催を決めた」とあいさつしました。

阿部さんは「近年、樹体の高齢化、病虫害の多発、気象変動、着果不良などにより、冬場の剪定作業でイメージした生育とは異なる生育になっている。新梢管理が重要になっている」と説明しました。

演習では、潜芽新梢の処理方法や結果枝上の摘芯処理について、芽切りばさみを使って実演。「冬場のイメージを復元することを基本概念として、しっかりとした『育ちのイメージ』を持って、管理に当たってほしい」と述べました。

参加者からは「具体的でわかりやすかった」「自分のほ場でも実践できることが多く、とても参考になった」との声が出ました。

担い手がドローン導入・労働力軽減を図り、地元貢献

農 業分野にもドローン（小型無人機）導入の動きが広まる中、宇都宮市内でも導入に向けた講習会が開かれ、関心が高まりつつあります。就農3年目の宇都宮市氷室町、野澤俊樹さん（30）も、ドローンを使った米麦栽培の作業効率化に取り組んでいます。労働力の軽減により規模拡大にもつながります。ドローンの技術が確立し農作業が順調に進めば、将来的には地域の農作業の請け負いも視野に入れています。

就農後は、親元の手伝いとして、米麦栽培を続けています。今年からはドローン作業による除草、追肥などの作業を担っています。ドローン導入により、田植え後の除草作業の労力軽減を図っています。今は、除草用のブームスプレー^{ほじょう}で圃場を回っています。また、追肥や麦の防除にも力を発揮します。

同市東部地区でも担い手不足や高齢化などによる後継者問題は深刻になっています。ドローン導入により、労働の負担軽減を進め、農業が続けられなくなった農地を集約し、米麦栽培の規模拡大を図ることも可能にします。

今、圃場での離発着などの試運転を繰り返し、本番でのドローン導入に備えています。野澤さんは「地域の後継者不足を助けられるように技術の習得に努めたい」と、地域の担い手農家としての自覚も芽生えています。

ドローン導入に向け、試運転を繰り返す野澤さん



実際の圃場でドローンを飛ばし技術向上を図る野澤さん（左）

水稲

水管理

根の活力を維持するために、引き続き間断かん水が続けましょう。

ただし、茎数が多く葉色が濃いほ場や水はけの悪いほ場では、やや強めの中干しを実施し、幼穂がきたら間断かん水に切り替えます。出穂前14日〜7日が最も低温に弱いので、最低気温が17℃以下の場合、深水管理をして幼穂を保護します。また、高温の強い風が予想されるときは、浅水程度で構いませんので、田面が見えないよう管理しましょう。

穂肥

穂肥一発肥料(ひとふりくん)を使用したほ場は、原則として穂肥は行わないようにしましょう。

表1 穂肥管理例(コシヒカリ対象)

茎数	葉色	穂肥時期	幼穂長(cm)	施用量(kg/10a)
少 17本以下	淡 3.5以下	早め 出穂18日前	1	BBNK -202 15~20
普通 18~20本	並 4.0前後	通常 出穂15日前	2	
多 21本以上	濃 4.5以上	遅め 出穂10日前	7	

※葉色の数字は、カラスケール(葉色版)

図1 水稲の幼穂長

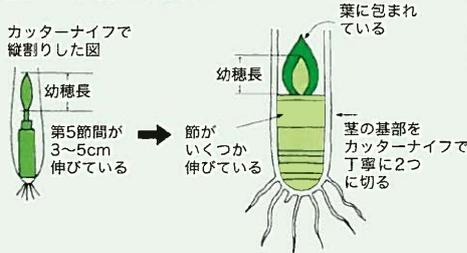


表2 コシヒカリ幼穂長と出穂前日数

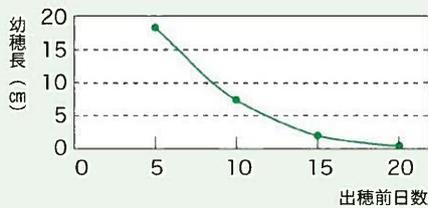


表3 カメムシ類防除剤

薬剤名	散布量/10a	使用時期	使用回数
スタークル豆つぶ	250g	収穫7日前まで	3回以内
スタークル粒剤	3kg	収穫7日前まで	3回以内
スミチオン乳剤	1000倍液を60~150L	収穫21日前まで	2回以内
トレボンEW	1000倍液を60~150L	収穫14日前まで	3回以内
MR.ジョーカーEW	2000倍液を60~150L	収穫14日前まで	2回以内

表4 水稲現地検討会開催日程

	9:00~10:00	11:00~12:00	13:30~14:30	15:00~16:00
7/9(木)	西部営経センター	北部営経センター	上河内営経センター	河内営経センター
7/10(金)	東部営経センター	南部営経センター	上三川営経センター	南河内営経センター

カメムシ類防除

カメムシは畦畔の出穂したイネ科雑草に引き寄せられ、稲の出穂に伴って稲穂に移動し加害します。稲の出穂

現地検討会

本年度の水稲栽培に係る肥培管理、高温対策、病害虫防除対策について、各営農経済センター管内ほ場にて現

分肥体系では、穂首分化期頃(出穂30日前頃)に茎数と葉色の値を調査し、表1を参考に穂肥の実施時期を判断しましょう。出穂期の予測は、一番長い茎を抜き取り、カッターナイフで縦割りして調べます(図1・表2)。施用量は、BBNK・202の場合は10a当たり15kg施用します。

また、一番長い葉(12葉)の葉身長が44cm以上、または前葉との差が10cm以上ある場合は倒伏が予想されますので、穂肥時期を遅らせるか、施肥量を控えましょう。

「あさひの夢」については、出穂18日(前)幼穂長3mmをねらい、BBNK・202の場合10a当たり15~20kg施用します。

2~3週間前と出穂期頃の2回連続で、地域ぐるみで草刈を行います。また、水田内のノビエやホタルイ等の雑草も取り除いておき、イネ科雑草の穂を作らせず、カメムシを寄せ付けないようにしましょう。なお、地域内で極端に早いか遅い出穂は被害を受けやすいので、特別な注意が必要です。

カメムシ類の防除は表3を参考に行ってください。

また、飼料用米は、収量によって助成額が変わりますので、主食用米と同様の肥培管理や病害虫防除を実施しましょう。

大豆

中耕・培土

中耕は土壌への酸素供給と雑草抑制、培土は不定根の発生促進・倒伏防止・雑草抑制・排水性の改善など品質・収量の向上を目的に行います。

図2 大豆の中耕・培土



1回目の中耕は播種後20日頃を目安に、子葉節が埋まるように行います。2回目の培土は、1回目の中耕の7~10日後に、初生子葉節が埋まるように行います(図2)。

なお、中耕時には畦間の大豆の根を傷めることから、遅くとも開花1週間前までに培土を終えるよう努めましょう。

他方、時期遅れの培土は梅雨が明け、時期でもあり、莢数の減少や干ばつ害の助長による減収につながる危険があります。



『せい そう ねん 青壮年の記』

～ Youth & Middle ～

ユース & ミドル

第2回青壮年部 執行部会議

6月2日、JA本所にて第2回青壮年部執行部会議が開催されました。会議では、令和2年度の事業計画について協議が行われ、今後の青壮年部の活動内容について意見交換を行いました。12日に行われた昭和こども食堂への支援についても最終確認が行われ、当日に向け入念に打ち合わせが行われました。



荒川真利青壮年部長から挨拶



入念な話し合いが行われました

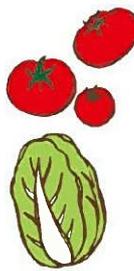


荒川真利青壮年部長(右)が運営責任者の荻野さんへ農産物を寄付しました



近況について談話も

「こども食堂」を支援。 盟友が農産物を寄付。



青 壮年部は6月12日、「キッズハウス・いるどり(昭和こども食堂)」を訪問し、青壮年部盟友が生産した米やブロッコリー・トマト・タマネギなどの新鮮野菜を贈りました。

昨今の新型コロナウイルス情勢によって、小中学校の給食が中止や簡素化することで、食事に困る子どもや家庭が増えている。青壮年部は、それらの家庭へ農業を通じた支援を行うことにしました。荒川真利青壮年部長は、「ぜひ、子どもたちにお腹いっぱい食事を取ってもらいたい。今日は、野菜とお米になりましたが、定期的に合えば果物も提供したい」と、引き続き支援していくことを力強く語りました。

運営責任者の荻野友香里さんは、「新型コロナウイルスの感染防止による影響で、お母さんの仕事が減り十分な食事が取れない子どもも達もいるので助かります」と感謝の意を述べました。

知って納得！ 資産管理講座



弁護士 こもり りゅうすけ
小森 竜介

「相続人の中に判断能力のない人がいる場合の話」

Q 相続人の中に、脳梗塞で倒れて意識がない者がいます。この場合、どのような手続で遺産分割協議を進めていけばよいのでしょうか。

A 精神上の障害により判断能力を欠く者は、遺産分割協議をすることができません。

そこで、他の相続人は、家庭裁判所に成年後見開始の審判の申立を行い、成年後見人を選任してもらい、選任された成年後見人との間で遺産分割協議を行うことになります。

後見開始の審判は、精神上の障害により判断能力を欠く常況にある者を保護するために、家庭裁判所が成年後見人を選任する手続です。

成年後見人になる者は親族に限られず、弁護士や司法書士、社会福祉士などの専門家が選任されることもあります。

選任された成年後見人は、本人の意思を尊重し、かつ、本人の心身の状態や生活状況に配慮しながら、預貯金に関する手続や介護に関する契約の締結などの法律行為を行い、本人の財産管理をすることになるので、本人のために遺産分割協議を行うこととなります。

もっとも、成年後見人は本人の利益を損なうことはできないので、遺産分割協議においても法定相続分を確保することが原則となり、本人の相続分をゼロとするような遺産分割協議を行うことはできません。

なお、成年後見人の職務は、通常、本人が亡くなるか、能力が回復するまで続くので、遺産分割協議のために後見開始の申立てをし、その相続手続が終わったとしても、成年後見人の仕事は継続していくことになります。

法律税務相談日

7月20日(月)

無料ですが予約が必要です。

最寄りの支所へお申し込みください。相談時間は午後1時から先着受付順です。資産管理や土地有効活用などお気軽にご相談ください。

けんこう ひやかか 健康百科



上都賀総合病院
栄養課 課長

よこた あやのり
横田 綾敦

夏バテを防ぐ食事術

夏 バテの原因は、室内外の気温差による自律神経の乱れや熱帯夜による睡眠不足や食欲不振です。暑さで食欲がなくなると、のど越しのよい蕎麦やそうめんなどの炭水化物中心の食事になり、代謝に必要なビタミンや蛋白質が不足し、体のダルさや疲労感を感じやすくなるのでバランスの良い食事を心がけましょう。

夏バテ予防の一品「ゴーヤチャンプルー」

ゴーヤ(にがうり)は、ビタミンCが豊富な夏を代表する野菜です。ゴーヤのビタミンCは過熱しても壊れにくい為、炒めてもビタミンCをたっぷり摂ることができます。ゴーヤ特有の「苦み」には、「モルデシン」という栄養素が含まれており、胃腸の粘膜を保護し、食欲を増進させ、夏バテを防ぐ効果が期待できます。豚肉や豆腐、卵など良質の蛋白質がバランスよく摂れる「ゴーヤチャンプルー」を是非作ってみてください。

ゴーヤチャンプルー



材料 (2人分)

ゴーヤ……………1/2本
豚もも肉……………100g
木綿豆腐……………100g
もやし……………50g
卵……………小1個

◆調味料◆

鰹だしの素……………1g
粉末煮干……………1g
塩……………2g
こしょう……………少々
醤油……………2g
ごま油……………3g
鰹節……………0.1g

1人分栄養価

エネルギー……………178kcal
たんぱく質……………16.5g
脂質……………10.2g
食塩……………1.3g

作り方

- 1 ゴーヤは、スプーンでワタを取り除き、3mm幅に切り、塩もみ・水洗いし、水気を取る。
- 2 ごま油を入れ、豚肉・ゴーヤ・もやし・豆腐を炒め、火が通ったら、卵を入れよく混ぜる。
- 3 混ぜたら調味料を入れ、味を整え、最後に鰹節を上に乗せる。

姿川支所

だより

各支所の活動や地域の情報をお届けします!



スタジアムゲート



スタジアム内部



スタジアム全体

栃木県総合運動公園陸上競技場

姿川支所管内で、宇都宮市西川田2丁目の競馬場跡地に、新しい陸上競技場が完成しています。新スタジアムは鉄筋コンクリート造の地上4階建てで、観客席は約25,000席、公認第1種の陸上競技場及びJリーグ施設基準を満たすサッカー場として整備されており、近くで見ると圧倒されるようなすばらしい建物となっています。

令和2年4月に供用開始の予定でしたが延期されていますので、早くこの新スタジアムで多くのイベントが開催される状況になることを期待したいと思います。その際は、是非みなさまもお出かけください。

手作り飛沫防止パネル

姿川支所では、お手続きに時間を要するような場合は、ローカウンターでご対応させていただいてありますが、新型コロナウイルス感染症防止策として飛沫防止パネルを設置しております。こちらのパネルは木製の手作りです。完成度はご覧のとおりですが対策の一つとさせていただきます。職員がマスク着用で、さらに飛沫防止パネルがありますと声が聞こえづらいことがあります。しかし、多くの問い合わせありがとうございます。お願ひ申し上げます。

飛沫防止パネル



支所・センター電話番号

中央支所 028-633-3467	南河内支所 0285-48-2211
宝木出張所 028-622-6111	上三川支所 0285-55-1510
平石支所 028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター 028-665-0550
南部支所 028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター 028-658-6565
城山支所 028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター 028-656-8484
北部支所 028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター 028-660-3535
豊郷支所 028-624-8011	上河内営農経済センター 028-674-2164
清原支所 028-667-0151	河内営農経済センター 028-673-6911
姿川支所 028-658-6881	南河内営農経済センター 0285-48-2215
上河内支所 028-674-3333	上三川営農経済センター 0285-55-1511
河内支所 028-673-3135	

各種お問い合わせはこちらへ

- キャッシュカードの紛失・盗難**
 フリーダイヤル0120-082065
- 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)**
 事故受付センター フリーダイヤル0120-258931
- JA葬祭(24時間受付)**
 アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
 アトラスファミリーホール鶴田 028-633-9200
 アトラス上三川ホール 0285-55-1555
- LPGガス関係 灯油・軽油・A重油の配達**
 フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
 ※緊急連絡先028-633-0085